

輸出事業計画

※申請者名：株式会社ピエトロ

品 目：加工食品（ドレッシング・パスタソース・冷凍食品）

1. 輸出における現状と課題

【輸出における現状】

弊社主力商品であるドレッシングを中心に、海外での販路拡大や新規販売店の獲得を中心に事業を展開。コロナ以降では、越境EC、EC、ライブコマースなど、実店舗における展開以外での販売チャンネルが急激に加速。

同時期に、日本からシンガポールへライブコマースというチャンネルを使用して販売を実施。

弊社商品のポテンシャルの高さや、近年の共働き世代の増加、家で食事というよりも外食文化圏が多いアジアでも、手軽に料理ができる弊社のレトルトパスタソースやスープ、冷凍食品などが非常にお客様からの声が好評でリピートが多かったため、近年は、パスタソースを中心にレトルト、冷凍食品を主軸に提案を進めている。

【輸出における課題】

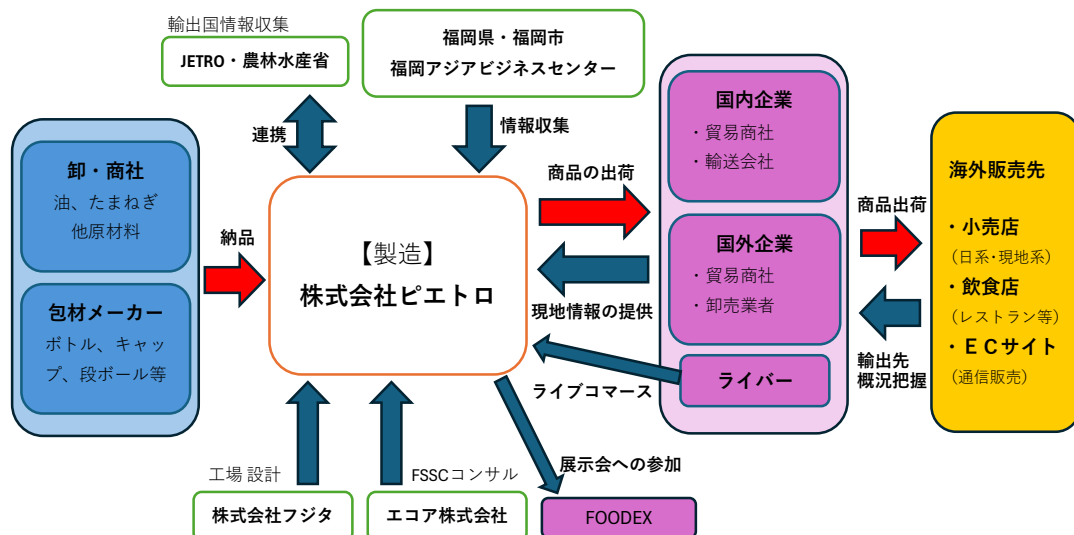
○ターゲット国：アジア(香港、シンガポール等)、欧州(イギリス等)、北米(カナダ等)、オセアニア(オーストラリア等)

- ・製造：輸出国の衛生基準、衛生規格を満たしていない
受注生産であるため、生産・出荷効率が悪い上に、手作業を多く残した製造工程であるため、製造コストが高い
輸出規制の知見がない状態で商品開発を行っているため、輸出を検討する段階で規制に引っかかる商品が多い
- ・販売：直接取引や直接輸出を希望される取引先において商談を進めることができない
海外販売に本格的に取り組むにあたり、新規市場開拓が必要

2. 輸出事業計画の取組内容

- ・製造：輸出量の増加による生産コストの平準化、新工場建設後の作業の効率化によるコストカット
グローバルスタンダードな知識と原材料の見直しによる輸出可能な商品開発
- ・販売：海外のサプライヤーへ直接輸出を行う仕組みを構築
展示会・商談会への参加による販路拡大、情報収集
輸出事業の検証と改善を行える体制の構築

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



※申請者名：株式会社ピエトロ

品目：加工食品（ドレッシング・パスタソース・冷凍食品）

4. 輸出目標額

<ドレッシング>

品目：加工食品	現状年 2024年度	目標年 2031年度
輸出額（千円）	15,044	26,416
輸出量（千本）	47.8	69.9
輸出先国	アジア(香港、シンガポール等) 欧州(イギリス等) 北米(カナダ等) オセアニア(オーストラリア等)	アジア(香港、シンガポール等) 欧州(イギリス等) 北米(カナダ等) オセアニア(オーストラリア等)

<パスタソース>

品目：加工食品	現状年 2024年度	目標年 2031年度
輸出額（千円）	13,330	21,199
輸出量（千本）	38.7	55.9
輸出先国	アジア(香港、シンガポール等) 北米(カナダ等) オセアニア(オーストラリア等)	アジア(香港、シンガポール等) 北米(カナダ等) オセアニア(オーストラリア等) 欧州(スペイン等)

<冷凍食品>

品目：加工食品	現状年 2024年度	目標年 2031年度
輸出額（千円）	2,336	22,251
輸出量（千本）	2.9	34.4
輸出先国	アジア(香港、シンガポール等)	アジア(香港、シンガポール等) オセアニア(オーストラリア等)